

科目コード	R5041	科目名	運動学				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	谷岡 龍一						
授業の概要	運動学は身体運動を考究する学問であり、その知識は運動障害をもつ患者の評価・治療を担う理学療法士・作業療法士にとって必要不可欠なものである。本講義では、関節の構造と運動特性および関節運動について学習する。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	筋骨格系の構造及び機能と関節運動との関係を説明できる。 力学的未定理に基づく運動の記述を説明できる。 正常歩行時の各相の名称とその特徴を説明できる。						
履修上の注意事項	必ず1年次の解剖学、生理学を復習して授業に臨んで下さい。骨、関節、靭帯、骨格筋の解剖生理をしっかりと身につけておかないと運動学は理解することが難しいです。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	オリエンテーション / 【1】生体力学の基礎			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	2	【2】生体力学の基礎			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	3	【1】四肢と体幹の運動（上肢）			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	4	【2】四肢と体幹の運動（上肢）			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	5	【1】四肢と体幹の運動（体幹・顔面）			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	6	【2】四肢と体幹の運動（体幹・顔面）			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	7	【1】四肢と体幹の運動（下肢）			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	8	【2】四肢と体幹の運動（下肢）			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	9	【1】姿勢			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	10	【2】姿勢			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	11	【1】歩行と走行			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	12	【2】歩行と走行			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	13	【3】歩行と走行			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
	14	【4】歩行と走行			事前；教科書の予習、事後；授業の復習		
15	運動学習			事前；教科書の予習、事後；授業の復習			
成績評価方法	小テスト20%、期末試験80% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	基礎運動学 中村隆一 ほか（医歯薬出版）					978-4-263-21153-3	
参考書							
教員からのメッセージ	理学・作業療法を学ぶ上で運動学は避けて通れません。とにかく繰り返し勉強し理解して下さい。						
教員との連絡方法	tanioka@hcu.ac.jp						
実務経験のある教員	回復期の診療経験（脳卒中、整形外科、呼吸器科等）、維持期の診療経験（廃用症候群等）、訪問リハビリの診療経験（特定疾患、慢性疾患等）をふまえ、知見を交えた講義を行います。						